

舉行せられた。

北海道地方

日勝幹線道の幌満橋渡橋式舉行

北海道南部の重要幹線道路として日高十勝兩地方を連結する帶廣浦河線の幌満川に架する幌満橋は延長一三六米有效幅員五・五米橋脚構造脚柱三本建鐵筋混凝土造八ヶ所橋臺構造重方式併用鐵筋混凝土造二ヶ所にして所要の職工延二、四二六人、人夫延六、八九七人、工費六萬九千五百圓九十六錢内官給セメント費一萬一千九百六十三圓九十三錢にして昭和十年八月二十二日着工、爾來工事を進めること約八ヶ月にして今日完工したので五月十七日盛大なる渡橋式が

東北地方

岩手縣下廣表橋の竣工

岩手縣和歌郡釣子村と鬼柳村間和賀川に架せられた廣表橋は昨十年三月末日起工、五萬三千百餘圓の工費で去四月二十四日竣工した、延長二百四十八米、幅三・五米のゲルバー式鐵筋コンクリート橋である。

福島縣モタン橋架換着工

福島縣石城郡平町と同郡神谷村を連絡する鎌田橋の架換及國道鎌田山切取工事は愈着手せられたが鎌田橋は工費八萬六千圓、延長一三五米、幅員七・五〇米、橋脚七本、

關東地方

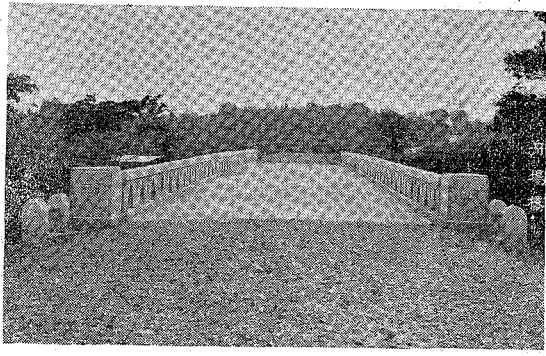
茨城縣下船場橋の竣工

茨城縣下府縣道岩間水戸線濁沼川に架する船場橋は架換工事中の處此程竣工したので去五月二十二日盛大なる開橋式が舉行せられた、其の工事概要は左の通である。

舟場橋架設工事概要

- 一、位置 府縣道岩間水戸線西茨城郡南川根村地内 濁沼川
- 一、橋梁延長 三六・〇米
- 一、取付道路延長
- 南川根村側 三四〇・〇米
- 北川根村側 四八四・〇米

一、有効幅員 橋 五・五〇米
 二、橋 造 道路 五・五〇米
 橋 臺 鐵筋混凝土造 二 基



橋 脚 鐵筋混凝土造 二 基
 橋 體 連續桁式鐵筋混 凝土丁型桁三通 一連三徑開

地方通信

鐵 材 一、九、六二六・〇斤
 セメント 二、五九二・九袋
 砂 利 四八二・八粒
 砂 二〇〇・一粒

一、使用延人員 七五、〇〇〇人
 一、施工方法 直 營
 一、總 工 費 一八、〇〇〇圓
 內農村其他應急土木事業 一五、二五〇圓
 冷害對策應急土木事業 二、七五〇圓
 起工 昭和十年十二月六日
 竣工 昭和十一年五月三十一日

千葉縣道路愛護映畫會の實施

千葉縣土木課では道路愛護の精神を一般地元民の間に普及徹底せしめる目的を以て交通知識普及映畫會と協力して道路愛護映畫宣傳を實施した、第一期として去三月三日より五月十七日に亘り五十一ヶ所に於いて別記之通開催したがその効果は相當顯著なるものがあり、各地道路愛護會の活動を旺盛ならしめたばかりでなく小學兒童達にまでも好ましき影響を及ぼし兒童等が自發的に地元道路の愛護に努める事例が所々に

現はれて來た、土木當局では適當の時期を選びて更らに第二期の巡回を實施し尙一層愛護精神の徹底を期する豫定である。
 (渡邊生)

月 日	開催地名	會 場	入場者概數
三月 三日	保 田 町	俱樂部	八〇〇人
同 四日	勝 山 町	小學校	一、〇〇〇
同 五日	佐久間村	同	一、〇〇〇
同 七日	平 群 村	同	八〇〇
同 八日	豐 房 村	同	一、〇〇〇
同 九日	白 濱 町	同	四〇〇
同 十日	館山北條町	同	二、〇〇〇
同 十一日	環 村	同	一、〇〇〇
同 十二日	大貫町	劇場	九〇〇
同 十三日	土 本 町	小學校	五〇〇
同 十四日	大和田	同	一、〇〇〇
同 十五日	根 形 村	同	一、〇〇〇
同 十六日	平 岡 村	同	二、〇〇〇
同 十七日	松 岳 村	同	一、六〇〇
同 十八日	富 津 町	公會堂	一、〇〇〇
同 十九日	飯 野 村	小學校	七〇〇
同 二十日	吉 野 村	同	一、〇〇〇
同 二十一日	本 納 町	同	一、三〇〇
同 二十二日	關 村	同	八〇〇

長野縣北安曇郡廣津村地内金熊川に架設の縣道池田麻績線の廣津橋は昨十年十月其架橋に着手し工費二萬圓で延長四八・五六米、幅四米、ゲルバー桁式のコンクリート橋で此程竣工を告げた、又同郡大町郊外の高瀬川上流に架する延長九三・九米、幅五・五米の平川橋で竣工し北アルプス山麓に其モダンな姿を見せることとなつた。

長野縣下自動車道の開通

長野縣東筑摩郡本郷村に於て施工しつゝあつた淺間温泉から蘆ノ田池を経て澁池に至る自動車道は開鑿工事完成し六月十五日から開通することとなつた該道路は林産物に搬出に便を與ふるのみでなく觀光道として歓迎せられ里山邊村の美ヶ原自動車登山道の完成と相俟つて美ヶ原連峯縱走者を誘致することであらう。

岐阜縣産業道路工事の進捗

庄川水力及昭和電力兩會社から百萬圓の寄附金があつたので開鑿に着手した越美南線白鳥驛から大野郡白川村鳩ヶ谷に通ずる

延長六十四キロの庄川地方開發産業道路は已に難所の部分的改修工事を終りたるも積雪の爲工事の中止を餘儀なくせられて居つたが此程竣工及橋梁架設の工事を開始する事となつた、其竣工も近きにあると該地方民は領る待望して居る。

近畿地方

滋賀縣下國道改良の竣工

滋賀縣大津市の東玄關に地位する國道二號線中瀬田町高橋川から栗田郡治田村川邊に至る間九、四七九米の道路改良工事は昭和八年四月工費五十萬六千圓を以て着工し施工中の處最大幅員十米で車道も鋪裝し京津國道に次ぐ明粧道路として面目を一新して此程竣工を告げた。

滋賀縣絶勝の周遊道路の工事

湖國の名所湖西湖北を結ぶ最初の交通路「大崎の絶景」を中心とする海津木之本線湖周道路改良工事中の伊香郡永原村大浦より高島郡海津村にいたる最難關の隧道工事

並に附隨道路は漸く完成の域に達した、本工事は延長一・三七四間、幅員三間で、この間大崎の名勝地は觀光上特に天然の勝景を失はざるやうに難工を見通して六ヶ所のトンネルを計畫し、昭和十年一月着工したので山崩れ十數回におよび、犠牲者三名を出したほか重傷者二名、輕傷者五十名におよぶ、二號トンネルは最小のもので崩潰後回復の見込み立たずつひに廢止し一號より五號までの五ヶ所に變更されるにいたつたなどの變遷あり目下一號、二號、五號は全く完成し、四號は一部鋪裝工事中、あまるところは三號の西口約八間で、近きうちに鋪裝完了の見込みである。

京都府下モダン橋の竣工

京都府與謝郡日置村地内府道伊根加悅線の世屋川橋は一昨年、風水害で損壞、昨年十一月から工費六千五百圓で架替へ中のところ二十四日竣工した、延長二十四米、幅員五米五十の鐵筋コンクリートである、また同線養老村宇岩ヶ鼻地内犀川橋も本年一月から工費六千圓で架替工事中のところ二十四日竣工、延長、幅員、様式など世屋川

橋と同型である、同路線の橋梁はさきに日出橋、里波見橋も竣工し今回前記二橋の完成によつて主なる橋梁は全部竣工を見たわけ、で畑川橋の舊橋としてのこされてゐる。なほ本庄村海岸の常世橋(町村道)もかねて地元部落の請負で着工中のところこのほど竣工、工費四千二百四十圓、延長三十九米二である。

中國地方

鳥取縣交通禍根絶の玉手箱

鳥取縣では自動車其他交通の慘禍日増に甚大に赴くので其交通禍根絶の方策として左の注意事項を發表した。

△一般歩行者の注意 (イ)道路は必ず左側を通行すること (ロ)車道、歩道の別ある道路においては必ず歩道を通行すること (ハ)道路を横斷するときは左右を見極め場所に注意して直角に横斷し決して斜行せざること (ニ)數人横列歩行して道路を塞がないこと (ホ)右方の道路に

曲らんとする場合は交叉點の中央を大廻りして右方の道路の左側に出ること、左方の道路に曲らんとする場合は最捷路をそのまゝ左折し左方の道路の左側に出ること。

△諸車に對する注意 (イ)諸車道路の交叉點、十字路、曲角、屈曲の場所または雜踏の場所を通るときは音響器を鳴らしまたは掛聲などの合圖をして徐行すること (ロ)諸車、牛馬は夜間は燈火を用ひること (ハ)鐵道または軌道の踏切を通過するときは必ず汽車、電車が接近してゐないことを確かめ通行すること (ニ)諸車を道路に駐めるときは必ず左端に寄せておくこと (ホ)前方の諸車を追越す場合は前者の右方を通過すること。

△その他一般に對する注意 (イ)道路で投、繩跳その他の遊戲をしたりさせたりすることは絶対に止めること、幼児を單獨で道路に出さぬこと (ロ)道路には軒擔、標旗、看板、店簾などを出さぬこと、但し標旗看板の類は路面より九尺以上のものは二尺以内、日除は支柱の用ひないものに限り路面から七尺以上のものは三

尺以内、掲燈は一尺以内に限り出すことを得る (ハ)道路で荷造り荷解き木挽などの作業をせぬこと。

△自動車運轉者に對する注意 (イ)規定の速度(市街地及び人家稠密の場所に於いては毎時三十キロその他の場所においては毎時三十五キロ)を遵守すること (ロ)酒民を帯びて運轉に従事せざること (ハ)雨雪、泥濘の際は人家若しくは他人に迷惑を及ぼさぬやう泥除を裝置し泥水泥土の飛散を防止すること (ニ)道路の交叉點十字路などにおいて方向を轉換する場合は必ず規定の手信號を行ふほか優先通行(十字路において左側にゐるものを先に通行せしめること)を勵行すること、(ホ)鐵道または軌道の踏切を通過するときは一たん車を駐め汽車、電車が接近してゐないことを確かめ通行すること。

岡山縣の道路愛護表彰

岡山縣和氣土木出張所管内第四回道路愛護會表彰式は五月十八日和氣高等女學校で舉行し表彰狀を授與された團體は左の通りである。

(一)等)赤磐郡山方愛護會(二)等)湯瀨村江
 尻愛護會(三)等)同大内愛護會(四)等)同高
 陽愛護會(五)等)同肩背愛護會△感謝狀同
 日古木愛護會△篤行者和氣郡熊山村長高
 原紀次郎

廣島縣福山市内道路の鋪

装進抄す

福山市では市内國縣道鋪裝計畫と相俟つて全市道の鋪裝化を企て昭和八年度に經費二萬七千九百餘圓を投じ幹線市道のアスファルト鋪裝に着手して以來九、十兩年度五萬四千圓をもつて引續き工事施行、既に現在までに鋪裝面坪一萬坪與市内市道の五分方を鋪裝、著るしく市街美を増したが市では今後ともこの方面に力をそよごこ、三、四年間に經費十萬圓で全市道鋪裝を實現せしめる方針で計畫樹立を急いでゐるが一面鋪裝を失業應急事業としてゐるため過去三年間に救はれた失業者延人員三萬五千名の多數に上り福山市内ではむしろこの方面での求人難を現出するといふ奇現象を呈した

廣島市の道路明粧狀態

地方通信

昭和十年度廣島市失業應急道路鋪裝擴築工事(工費二十三萬五千餘圓)は本年二月起償許可となり、鋪裝道路二十七線のうち一線は完成、十四線は目下工事中であるが近いよゝゝ残りの左記十二線の鋪裝および廣瀨神社前通り東大橋から仁保淵崎にいたる二線の擴築工事に着手することになつたがこれが全部完成の曉には市内の主要道路は殆どベアメントに明粧化し全く面目を一新するわけである。牛田町神田法△桐木町より段原新町△新市町地内△昭和町より南竹屋町△西新町市場より舟入幸町小網町電車停留所より堺町國道△觀音小學校南通△宇品町眼鏡橋より元宇品町△横川町一丁目より楠木町一丁目△水主町中筋より南大橋東詰△西觀音町一丁目より同町西堤防△宇品町一丁目本通

四國地方

德島縣下の道路愛護獎勵

德島縣下に於ける道路愛護會は本年三月二十七日知事諭告道路愛護獎勵規定公布せ

られ各土木出張所に於て管内各町村長及土木主任會議を開催し之が主旨を徹底せしめ或は道路愛護に關する標語ポスター等を



般より募集する等各種の方法を以て縣民の奮起を促したるに四月二十二日阿波郡柿島村及板野郡松島村兩道路愛護會は縣下各町村に率先して發會式を舉行するや規定公布

以來二ヶ月間に發會式を舉行せるもの其數六十を突破せる盛況に有之尙那賀郡大野村道路愛護會に於ては本月廿日左記の如く作業を實施し其成績優良にして多大の効果を收めつゝあり尙又今日迄に發會式を舉行せる愛護會は左記の通である(徳島道路改良會支部)

大野村道路愛護會作業實施概要

(五月二十日實施)

一、操業時間

午前六時三十分集合
午前七時始業

午前九時三十分より五十分食事

正午三十分休憩

午後二時より五十分食事

午後五時三十分終了

一、作業實施延長

(イ) 府縣道延長 八軒

(ロ) 町村道

一〇八軒の内特に路面悪しきヶ處

一、出席總人員

内府縣道へ出役 五一六人
町村道へ〃 三九二人

一、礎土運搬用具

トラック 五臺

内二臺は樫野石灰商より無料提供

三臺は村内業者より無料提供

オートサンリン 四臺 内三臺は有料屋上

荷車 五拾臺 村内各所有者より無料提供

一、作業の種類

(イ) 路面砂利敷 (ロ) 除草及路肩切下

(ニ) 路肩缺ヶ所抗柵工 (三) 暗渠側溝等の整理 (ホ) 其他一般交通障害物除去

一、前記作業に要する山土、粗朶等は附近地各所有者より無料提供

一、總指揮

愛護會長(村長) 同副會長(助役)

伊原富岡土木出張所長、森技手、日下技手

外に修路工夫長二名同班長三名修路工夫四名をして直接作業の指揮に當らしめ府

縣道は殆んど全區域に涉り修路作業を施したり

一、特記事項

本村民は社會奉仕の念旺盛にして全戸數五百三十五戸中當日出役人員五百十六人

にして他又は病氣等の事故缺席者僅二十九人に不過一戸一人出役の申合せを嚴守

し各幹部の指揮命令を克く遵守し秩序正

しく最も熱心に作業に従事し優良の成績を擧げ得たり

○發會式舉行町村

名 東 郡

國 府 町

道 路 愛 護 會

板 野 郡

瀨 戸 町

大 津 村

堀 江 村

松 茂 村

川 内 村

應 神 村

板 東 町

藍 園 村

北 灘 村

松 島 村

一 條 町

板 野 郡

御 所 村

松 坂 村

大 山 村

榮 村

應 神 村 兒童

北 島 村

勝浦郡

多家良村 道路愛護會

那賀郡

桑野村

大野村

加茂谷村

新野町

那賀郡

鷺敷町

相生村

延野村

日野谷村

名西郡

神領村

鬼籠野村

下分上山村左右地

同村下分上山

阿野村阿川

同村廣野

上分上山村

八田村

海部郡

淺川村

川西村

阿波郡

柿島村 道路愛護會

八幡町

伊澤村

久勝村

林町

麻植郡

川島町

木屋平村

中枝村

美馬郡

岩倉村

八千代村

半田町

郡里村

貞光町

三島村

古宮村

江原町

重濱村

三好郡

辻町

加茂村

三庄村

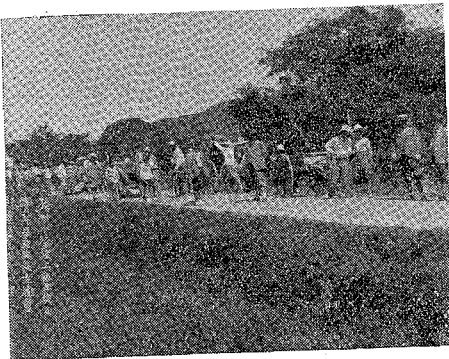
三好郡

晝間町 道路愛護會

足代村

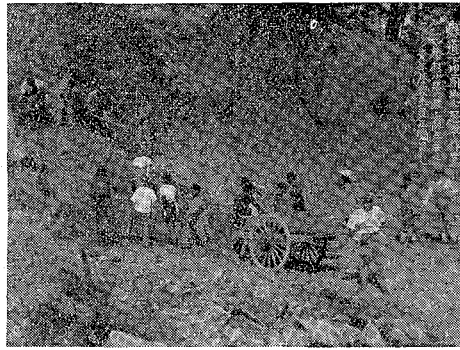
徳島縣椿村道路愛護運動

紀州日の岬に相對する四國の東端那賀郡椿村に於て去る五月二十二日道路愛護會結



成式を舉行其の席上に於て目下は農繁期にて大人の出役不能に付小學校上級生徒及男女青年學校生徒に於て次の日曜日に早速愛

護作業を爲す申出ありて閉會共翌々日の五月二十四日(日曜日を利用)村役場よりは廣瀬村長撫養助役を始め全吏員十名學校よりは渡川校長を始め男女職員十二名男女青年學校生徒七十七名小學校生徒一〇一名合計二〇〇名は砂利車、鎌、鶴嘴、唐鋏、土



箕等各自器具携帯男子は作業服に女子はエロン姿にて午前八時小學校に參集木田土木課派遣技手、伊原富岡土木出張所長森道

路技手平尾工夫長の指揮により男子は待避所設置(長五十二米幅一米擴張)砂利土運搬作業に女子は除草及障害樹枝採作業に従事し隣村福井村界たる椿坂峠より堂ヶ坂公園に至る府縣道椿泊橋線延長六料の路面修理を立派に爲し大人も不及熱心と汗の奉仕を爲し午後四時終一同校庭に集合木田技手及渡川校長の謝辭を兼ねたる講評あり散會せり尙當日午前中は下級小學生徒に道路愛護思想涵養の爲上級生徒の作業を參觀せしめたり(縣土木課)

高知縣の道路愛護會普及

安藝郡奈半利町では五月十四日道路愛護會發會式を小學校に於て舉行した消防組、婦人會其他各種團體員三百餘名出席し誓言を決議し役員を選擧最後に丸山土木課員の「道路の今昔」と題する講演があつた、又同郡甲浦町五月十八日午後三時より小學校講堂で道路愛護會發會式を舉行、參列者は小松土木工手町役場員學校職員男女青年團、在軍軍人分會、國防婦人會、消防組町有志、上級生徒等で小野助役開會を宣し宮城遙拜國歌奉唱の後小野助役座長席に着き小川町

長を會長に推薦し役員の囑託會則の審議宣言朗讀を終了し小野助役は泊知事の祝電を披露し岸田土木課長中山安藝土木出張所主幹の祝辭(各代讀)あり續いて丸山道路技手講演の後小野助役の音頭にて萬歳を三唱し午後六時閉會した。

同郡吉良川村 五月十九日午前九時より小學校堂で道路愛護會發會式を舉行、參列者は安岡土木工手村役場員學校職員男女青年團在郷軍人分會消防組上級生徒および有志等で松本助役開會を宣し宮城遙拜國家奉唱の後野崎廣利氏は松本助役を座長に推し座長より北村村長を會長に推薦し役員囑託會則の審議宣言朗讀を了し松本助役は泊知事の祝電を披露し岸田土木課長中山安藝土木出張所主幹等の祝辭(各代讀)および野崎廣利氏は祝辭に併せて會員を激勵しつついて丸山道路技手の講演あり松本助役の音頭にて萬歳を三唱し正午閉會した。

同郡羽根村 五月十九日午後一時より小學校講で道路愛護會發會式を舉行、參列者は安岡土木工手、小花土木工手、小笠原村長、學校職員青年團、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組、上級生徒其他村有志等で

小笠原村長開會を宣し宮城遙拜國歌奉唱の後役員の囑託會則の審議宣言朗讀の後小笠原村長は泊知事の祝電を披露し岸田土木課長中山安藝土木出張所主幹の祝辭(何れも代讀)あり續いて丸山道路技手の講演あり小笠原村長の音頭で萬歳を三唱し午後四時半閉會した。

同郡北川村 五月十九日午前九時より道路愛護會愛會式を舉行、參列者は澤田土木工手村役場員、學校職員、男女青年團、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組、上級生徒其他有志等で野村助役開會を宣し宮城遙拜國歌奉唱の後大谷村長を會長に推薦し役員囑託會則の審議宣言朗讀の後野村助役は泊知事の祝電を披露し岸田土木課長、安藝土木出張所主幹の祝辭(代讀)あり丸山技手の講演あり野村助役の音頭で萬歳を三唱し正午閉會した。

香美郡赤岡町去る二十五日午後八時から赤岡小學校にて盛大に愛護會發會式舉行縣から丸山道路主事外數名の係員臨席、町から江村町長以下吏員一同、青年團員國防婦人會員、有志多數出席定刻橋本青年團長の開會の辭に初り宮城遙拜、國歌合歌、會長

に江村町長を推薦、役員の詮衝を遂げ會則を審議し宣言を滿場拍手裏に決議、來賓西岡赤岡警察署長岸田土木課長(丸山主事代讀)藤本大徳土木出張所主幹等の祝辭に次で丸山主事は「道路の今昔について」と題し講演あり萬歳を三唱し午後十一時頃散會した、會則は左の如し。

赤岡町道路愛護會會則

第一條 名稱

本會は赤岡町道路愛護會と稱す

第二條 會員

本會の會員は赤岡町男女青年團、在郷軍人會、消防組、國防婦人會、其他を以て組織す

第三條 目的

本會は赤岡町地内に於ける府縣道、町道の保護改善を計るを目的とし左の各項を行ふ

一、毎年縣主催の道路愛護デーには會員

總出勤し主として府縣道及町道の手入

を行ふものとす

二、會員は常に其の區内の交通面の整理

を行ふ

三、暴風雨の場合は晝夜を問はず相當數

の會員出勤して區内を警戒し簡易なるものは直に之を修理す

四、會員は毎年春秋二回區内全般の手入を行ふものとす

五、本會は毎年一回以上道路愛護に関する講演會を開催す

六、本會は毎年三月末に其の前年度の會務一切を縣に報告す

第六條 役員任期

會長及副會長は三ヶ年、評議員は二ヶ年とす

第七條 事務所

事務所は赤岡町役場内に置く

第八條 總會

春秋二回總會を開き其他臨時に開くことを得總會の期日は會長之を決定す

附則

本會則は昭和十一年五月二十五日より之を實施す

高知縣下モダン久禮田橋

の竣工

高知縣長岡郡久禮田村では豫て工事中の久禮田橋が完成したので五月十三日午後三

時より橋上でその開通式を舉行、村役場員、學校職員、附近部落總代、信用組合長その他一般村民二百十餘名參列の上中澤神職によつて祭典執行投餅があつた、同橋は西森、信吉兩技手の設計監督の下に工費三千餘圓と延人員一千餘名の部落總出の勞務奉仕によつて完成した最新式鐵筋コンクリート橋で久禮田村の中央線にて高知、後免方面への交通上多大の便利を得る事となつた。

高知縣幡多郡第一のモダン橋成る

縣道中村、宇和島線の幡多郡江川崎村の川崎橋は昨年十二月七日に起工、幡多支廳土木課常石土木技手監督、工費四萬八千圓で工事中であつたが去る五月二十日頃完成した、同橋は鐵筋コンクリート橋では同郡最大のもので長さ九十八米、幅四米五〇、高さ十四米、附屬道路四百三十四米五〇で土豫兩縣交通上多大の便利をもたらすことゝなつた。

高知縣下四路線の縣道

編入

高知縣では上ノ加江久禮線、仁西長濱線、浦戸桂濱線、山田龍河洞線の四路線縣道編入を申請中のところこの程正式に認可されることになつた。

◇上ノ加江久禮線 高岡郡の樞要な商業地上ノ加江久禮兩町間を結ぶ海岸線で延長十一キロ三三全部未改修で十二萬六千圓で改修計畫が樹てられてゐる完成の曉は上ノ加江方面から東部久禮町須崎町方面に通ずる唯一の捷路となる。

◇仁西長濱線 園藝の中心地吾川郡仁西村を起點とし秋山諸木の南部を貫通し長濱町に出て縣道長濱高知線に接續する海岸線で延長八キロ三八三全部改修済みで目下改築中の甲殿川架橋が完成すれば縣外に仕向地を持つ沿線の豊富な園品は全部この線を大動脈として流出すべく沿線には甲殿、住吉の名勝地がある。

◇浦戸桂濱線 縣道浦戸長濱線の起點たる浦戸と一ヶ年三十萬の遊覽客を集める桂濱とを結ぶもので延長六五一米遊覽道路として將來重要性をもつ。

◇山田龍河洞線 國鐵山田驛の所在地たる山田町を起點とし土讚線開通により遊覽

客の激増をみせつゝある奇勝龍河洞の所在地香美郡佐古村逆川を結ぶもので延長三キロ八七〇これ亦重要な遊覽路線である。

高知縣下觀光ルートの完成

縣道長濱、後免線のうち三里村種崎地内延長四百メートルの路線は工費約三萬圓を投じ昨年一月以來改修工事を進めてゐたが今同立派に竣成して浦戸灣周遊觀光道路の一部として面目を一新したので五月二十五日午後一時から種崎公園で泊知事、井上縣會議長らはじめ官民有志參列のもとに竣工式を舉行された。

高知縣幡多郡の二橋開通

幡多郡江川崎村の川崎橋は工費四萬三千二百圓を投じて縣直營で架設工事中のところ、このほど竣成した、同橋は鐵筋コンクリートのT字型桁橋で延長九十八メートル幅員五メートル、高さ十五メートルの偉容は北幡山村における一異彩で昨年夏數度にわたる大出水で折角進捗中の工事を阻まれ

血の滲むやうな思ひで日夜營々苦心を重ねた結果、今日の喜びを見るにいたつたものである。また高岡郡窪川町の渡川上流、縣道窪川、江川崎線に新裝を急いでゐた窪川橋も全く竣工したのでいよいよ、今六日から開通する、工費三萬一千五十圓、延長百十二メートル六〇、幅員三メートル六五、中央木造、兩袖鐵筋コンクリートのモダン橋で從來の腐朽に類した古橋とは隔世の觀あり同地方の交通運輸界に一大福音を齎らすものとし歓迎せらる。

九州地方

大分縣國東半島の開發

大分縣國東郡の半島は山岳重疊交通の便を阻み、日豊本線が柳ヶ浦あたりから杵築日出にかけて眞直ぐに抜けて鐵道が半島を敬遠したため文化の向上と産業の開發において時世にとり殘された存在であることを免れなかつたが最近なんとかして國東を生かさねばならぬといふ機運が地元や縣當局間に醸成され、今や半島開發の事業が營々

として行はれだした、その主なるものを舉げると時局匡救、旱害救濟、災害復舊など様々の名目で施工されてゐる道路、港灣、橋梁トンネルの改良工事である、半島の産業上の動脈はなんといつても三十里にも達する海岸道路である、橋津から國道に岐れて高田を過ぎるこの縣道は半島の外廓を環狀に走り蜿蜒として日出に出で國道に結ばれる、その間山を貫くトンネルが二十九ヶ所もあり、全國でも類の少いトンネル道路である、目下改修工事は

道路 では高田、國東線で四ヶ所高田、竹田津線で三ヶ所、國東竹田津線で四ヶ所その他數ヶ所施行中である。

隧道 では高田、竹田津線と國東、竹田津線の二十九ヶ所が改良を了へ將來十七ヶ所の改良を要する。

港灣 では香々地港が二萬七千餘圓で防波堤増築、荷揚設置港内浚渫を施行完成し伊美港は防波堤の新設を工費六萬圓で施行中富來港は三ヶ年繼續で十一萬一千圓の巨費を投じ十年度より防波堤築造および港内浚渫を施行中である。

これらの諸工事が完成の曉は沿道の主要

物産たる米穀、木竹材、植芋、青蓮、木炭などの集散に非常な便益を齎し、沿岸の鯛をはじめ各種漁獲物の出荷も活潑となりことに香々地伊美、富來の港からは直接徳山三田尻、松山などへの縣外移出も一層容易となり半島産業界には輝かしい黎明が訪れることにならう。

宮崎縣下三十年待望の林道開く

宮崎郡南部から南那珂郡にかけて廣庭二千町歩にわたる國有原林を開拓するため宮崎郡青島村民待望の林道は熊本營林局の手によつてまる半歳ぶりに見事に完成した。同林道は内海港から延長七キロ五の軌道で國有林から伐採した杉松、櫻材はトロツコの自然の勾配を利用して内海港まで運ばれ同港から京阪神、朝鮮、滿洲まで送られるが木炭木材合して年産額十萬圓近くに上り同村としては實に三十年來待望の林道で内海の良港を控へて將來の發展を豫想し同村民は大變な喜びである、なほ工費は四萬五千圓。